



【訓練の想定と目的】

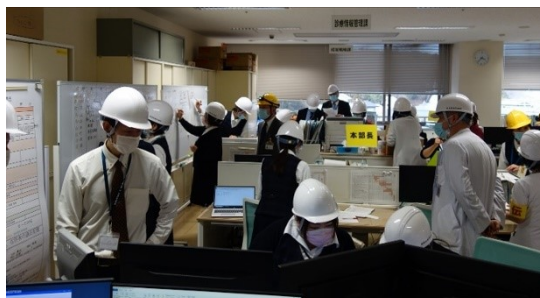
- ・令和6年1月17日(水)午後3時に南海トラフ巨大地震発災(マグニチュード9.1、鳴門市は最大震度6強)
- ・津波が約60分後に病院に襲来。地下水没、1階は2~3m浸水する。
- ・津波到達までの間に、①1階・2階の外来患者さん、近隣からの一時避難者を3階まで避難させる。
②地下の必要物品を4階に搬出する。
- ・訓練結果に基づき、BCP(事業継続計画)の見直しと発災後1時間にやるべき事のマニュアルを策定する。

受診患者役(要介助含)や一時避難者役に市民の方等、約200名の方に参加いただきました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。

今回の訓練で、各部署で発見された課題に対して改善案を考え、随時見直しを行ってまいります。

災害対策本部で院内外状況を把握、記録、伝達指示



▲災害対策本部内の様



▲時系列(クロノロ)記載

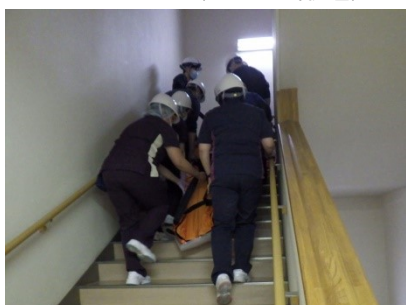
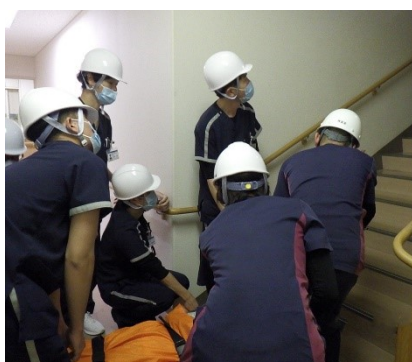
- 連絡班…院内情報窓口
時系列(クロノロ)記載
貴重品預かり
- 記録班…院内情報の集約・集計
掲示
- 情報班…院外情報の収集・伝達
院内情報の外部発信

避難者・受診患者の搬送



▲3階への避難誘導の様子

(自力で階段を上げられない方をエアーストレッチャーにて搬送)



【避難について】

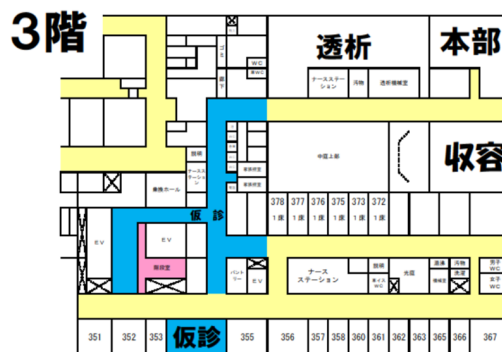
- ・自力で階段を上げられる方の誘導
→東階段より3階大会議室へ
→健康管理センターはセンターの3階会議室へ
- ・階段を上げられない(要介助)方の搬送
→中央階段から3階会議室、仮診療所へ



【会議室での受付・収容について】

- ・受付票の記載
- ・生活空間では靴を脱いでもらう

仮診療所設置（3階）



外来から、どうしても診療継続が必要な患者さんのみを搬入

避難完了後、ご協力いただいた方々へ災害への対策を説明



訓練の締めくくりとして、ご協力いただいた方々へ**発災すると何が起こるのか、一時避難時の注意点**などを説明しました。
※当院は一時避難場所等の指定を受けておりません。命を守る行動の後は避難所等への移動についてご協力をお願いします。